

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北都保健福祉専門学校
設置者名	学校法人 稲積学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程	理学療法学科	夜・通信	15単位	13単位	
		夜・通信			
専門課程	作業療法学科	夜・通信	15単位	13単位	
		夜・通信			
専門課程	看護学科	夜・通信	12単位	10単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ https://hokuho.ac.jp/information-disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北都保健福祉専門学校
設置者名	学校法人 稲積学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページ <https://hokuho.ac.jp/information-disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現職（会社役員）	令和7年5月30日～ 令和11年5月29日	財務関係
非常勤	現職（弁護士）	令和7年5月30日～ 令和11年5月29日	労務関係
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北都保健福祉専門学校
設置者名	学校法人 稲積学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>関係法令を遵守しながら、学生の実態・就職施設(病院等)の要望を把握し、教育課程編成委員会で外部委員との意見交換を行う中で、カリキュラム改善に関する意見を取り入れている。</p> <p>それらの意見を基に学科会議及び学科長会議の議を経て、最終的なカリキュラムに反映させている。毎年3月までにシラバスを作成し、新年度開始前または開始後に学生へ配付している。なお、シラバスには、担当教員名・対象学年・開講時期・単位(時間)数・授業の概要・到達目標・各回の履修主題及び履修内容・授業形式・成績評価の方法、基準、教科書(または参考書)を簡潔明瞭に記載している。さらに、ホームページにて各種情報の更新時期(例年6月まで)に合わせて公開し、周知徹底を図っている。授業時間割やその他の注意事項の連絡は学内掲示板のみならず、スマホ・パソコン等により、学生が学外からも確認できるシステムを採用している。</p>	
授業計画書の公表方法	学校ホームページ https://hokuho.ac.jp/information-disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生が各科目シラバス及び学則、履修規程に基づき履修した学習成果の評価(成績評価)は、学則第25条並びに履修規程第4条の評価基準に基づき、厳格かつ適正に行っている。</p> <p>成績評価については、年度当初に学則及び履修規程に従った方法により実施することを学生に説明し、年度末に開催する学科会議(または稟議書)を経て、単位認定(または履修認定)を実施している。</p> <p>学習意欲の把握は、日々の受講状況、出席状況、課題提出状況、小テスト結果、個別面談等を通じて学習意欲および学習状況から判断している。何等かの問題がある学生に対しては、早期に改善指導や改善のための支援を実施している。また、必要に応じて保護者へ速やかに状況を報告している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、秀・優・良・可・不可とし、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満としている。不可は不合格とする。再試験では、60点以上を合格として、可と評価している。学生個々の成績状況については、当該学生の履修科目の成績を点数化し、科目ごとの単位数を考慮した総合平均点を算出している。また、学科・学年ごとの成績順位及び分布状況を把握している。出席状況・成績一覧表を作成し、個別面談により本人および保護者（保証人）へ通知している。全学科全学年について成績点数の分布図を作成し、シラバスと共に公開している。この分布図から得られる成績状況を各学科教員全員が共有して、今後の教育改善等に向けての対策の検討材料としている。また、学内規程に従い、前年度の成績上位者の中から各クラスから1名を成績最優秀者として年度初めに学内選考し、表彰している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学校ホームページ https://hokuho.ac.jp/information-disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及び各学科の教育目標に基づき、保健・医療・福祉分野の専門職として必要な知識、技術、倫理観及び対人援助能力を修得し、地域社会に貢献できる能力を身に付けた者に対して卒業を認定する。</p> <p>卒業認定は学則第31条及び履修規程第13条に基づき適切に実施している。卒業認定の要件として、学則別表第1に定めるすべての授業科目を履修し、所定の単位を修得することを条件としている。卒業認定については、各学科において学生の修得状況を確認したうえで学科会議の議を経て決定している。</p> <p>理学療法学科及び作業療法学科については、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改正に伴い、令和2年度に教育課程（カリキュラム）の改正を実施し、令和5年度から全学年に新カリキュラムを適用している。</p> <p>看護学科については、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、令和4年度から新カリキュラムを導入し、令和6年度から全学年に適用している。</p> <p>理学療法学科及び作業療法学科の卒業生には高度専門士の称号が付与され、大学院への進学資格が認められる。看護学科の卒業生には専門士の称号が付与され、保健師学校及び助産師学校等への受験資格が認められる。</p> <p>また、本校のディプロマ・ポリシー及び卒業認定に関する基準については、学生便覧及び学校ホームページに掲載し、学生、保護者及び社会に対して広く公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学校ホームページ https://hokuho.ac.jp/information-disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北都保健福祉専門学校
設置者名	学校法人 稲積学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校ホームページ https://hokuho.ac.jp/information-disclosure/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士			高度専門士
医療		専門課程	理学療法学科				○
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	124単位 (3.435時間)	84単位 (1.710時間)		40単位 (1.725時間)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		115人	0人	5人	75人	80人	
(備考) (任意記載事項) ()内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時間を記載している。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 関係法令を遵守してカリキュラム編成を基本として、基礎分野・専門基礎分野・専門分野を設定している。授業方法は、講義・演習等を実施し、臨床実習は病院・施設等で実施している。年度ごと、科目の試験結果と担当講師の評価を踏まえシラバスを確認し、適切に修正・変更を実施している。

成績評価の基準・方法

(概要) 当該科目の出席時間数・シラバスに記載している評価方法を用いて評価している。成績評価は、秀・優・良・可・不可とし、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、不可を不合格とする。再試験合格は可(60点)として評価する。

修了・進級の認定基準
(概要) 卒業認定は、学則第 31 条に基づき実施している。すべての授業科目を履修し、単位を修得している者について、学科会議の議を経て行う。進級認定は、履修規程第 12 条に基づき実施している。
学修支援等
(概要) 成績不良者に対しては、学習方法の見直しや未修得分野の確認を行い、学生一人ひとりの状況に応じて教員による個別指導を入学初年度から実施している。また、学生同士が学習面や学校生活について支え合うピアサポート制度を導入し、学びやすい教育環境の構築に努めている。 社会性や対人関係に課題がみられる学生に対しては、早期に教員との個別面談を実施し、課題の把握と改善に向けた支援を行うとともに、医療専門職として必要なコミュニケーション能力や対人関係構築能力の向上を図っている。 さらに、心理的な不安や精神的な不調を抱える学生に対しては、教員による継続的な相談支援に加え、必要に応じてスクールカウンセラーによる相談の機会を設け、安心して学業を継続できるよう支援している。国家試験対策については、学習到達度の把握を定期的に行い、補習授業や個別指導を実施するなど、学生が卒業時に必要な知識・技術を確実に修得できるよう支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23 人 (100%)	0 人 (0%)	19 人 (82.6%)	4 人 (17.4%)
(主な就職、業界等) 病院・クリニック・介護老人保健施設			
(就職指導内容) 本校に寄せられる求人票に基づき、学生が希望する病院、施設等の情報等を提供するなど、適切なアドバイスを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士免許取得（国家資格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
115 人	6 人	5.2%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下や極度の学業不振のため、進路変更をした。中には、元々理学療法士を目指していなかったことが進路変更の一因となったケースもあった。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業不振者の中には、学習支援により退学を回避できたケースもあったため、個別面談、保護者との三者面談、経済的支援制度の紹介等を早期に実施し、中途退学の防止に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	作業療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	122 単位	75 単位		47 単位		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		27 人	0 人	6 人	89 人	95 人	
(備考) (任意記載事項) 令和 8 年度募集停止により、記載単位数は 2~4 学年に適用。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 関係法令を遵守したカリキュラム編成を基本として、基礎分野・専門基礎分野・専門分野・作業療法学演習を設定している。授業方法としては、講義・演習等を実施し、臨床実習は学外の病院・施設等で実施している。年度ごと、科目の試験結果と担当講師の評価を踏まえシラバスを確認し、適切に修正・変更を実施している。
成績評価の基準・方法
(概要) 当該科目の出席時間数・シラバスに記載している評価方法を用いて評価している。成績評価は、秀・優・良・可・不可とし、秀は 90 点以上、優は 80 点以上、良は 70 点以上、可は 60 点以上、不可は 60 点未満とし、不可を不合格とする。再試験合格は可 (60 点) として評価する。
修了・進級の認定基準
(概要) 卒業認定は、学則第 31 条に基づき実施している。すべての授業科目を履修し、単位を修得しているものについて、学科会議の議を経て行う。進級認定は、履修規程第 12 条に基づき実施している。
学修支援等
(概要) 成績不良者や学習態度に課題がみられる学生に対しては、個別面談を実施し、学業上の課題や生活上の問題等の原因を把握するとともに、改善に向けた具体的な支援を行っている。また、学科教員間で学生情報を共有し、必要に応じて学校長への報告を行うなど、組織的な支援体制を整備している。さらに、保護者との面談や連携を図りながら、補講や個別指導等を実施し、学業継続を支援している。学生同士が学習面や学生生活において支え合うピアサポート活動を推進し、安心して学べる教育環境の構築に努めている。 また、心身の不調や対人関係等に不安を抱える学生に対しては、教員による相談支援に加え、相談員 (カウンセラー) と気軽に相談できる体制を整備している。必要に応じて保護者と連携するとともに、専門的な支援が必要な場合には医療機関等の紹介を行い、学生が安心して学業を継続できるよう支援している。 さらに、国家試験対策として学習到達度の確認を定期的実施し、補習授業や個別指導を行うことで、作業療法士として必要な知識・技術の修得を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

9人 (100%)	0人 (0%)	6人 (66.7%)	3人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 病院・介護老人保健施設			
(就職指導内容) 本校に寄せられる求人票に基づき、学生が希望する病院、施設等の情報等を提供するなど、適切なアドバイスを行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 作業療法士免許取得(国家資格)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	4人	10%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下による学業不振により進路変更をした。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業不振や対人関係トラブル等による退学は回避できるように、個別面談、保護者との三者面談、経済的支援制度の紹介等を早期に実施し、中途退学の防止に努めている。近年は個別の学習支援に力を注いでいる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	専門課程	看護学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	102単位	79単位		23単位		
学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	104人	0人	8人	104人	112人		
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 関係法令を遵守してカリキュラム編成をしている。基礎分野・専門基礎分野・専門分野を設定している。授業方法は、講義・演習等を実施している。科目試験結果と授業評価・担当講師による評価を踏まえシラバスを確認し、必要時に修正を実施している。臨地実習は、病院・訪問看護ステーション・福祉施設・教育機関等、看護師の活動の広がりに合わせて構築している。

成績評価の基準・方法
<p>(概要) 当該科目の出席時間数・シラバスに記載している評価方法を用いて評価している。成績評価は、秀・優・良・可・不可とし、秀90点以上、優80点以上、良70点以上、可60点以上、不可を60点未満とし、不可を不合格とする。不合格の際には、再試験を行う。なお、再試験合格は可60点として評価する。</p>
修了・進級の認定基準
<p>(概要) 卒業認定は、学則第31条に基づき実施している。すべての授業科目を履修し、単位を修得している者について、学科会議の議を経て行う。進級認定は、履修規定第12条に基づき実施している。1年次の最低年間履修単位40単位を修得した者について2年次進級とし、2年次から3年次へ進級するためには、1・2年次に開講している全ての科目の単位を修得することとする。</p>
学修支援等
<p>(概要) 成績不良者に対しては、教員による個別指導を実施するとともに、自主学習及び自主技術練習を推奨し、その実施に必要な学習環境の整備や支援を行っている。国家試験対策としては、学生の希望に応じてグループ学習の支援や個別学習指導を実施している。また、長期休業期間を活用した夏期講習及び春期講習を開講し、国家試験対策のみならず、看護技術の習得や臨地実習に向けた学習支援を行っている。さらに、学習内容の理解が十分でない学生や履修内容に不安を抱える学生に対しては、補講や個別面談を通じて学習支援を実施している。臨地実習においては、実習担当教員による継続的な指導を行い、実習上の課題や不安の軽減に努めている。また、心身の不調や学生生活上の悩みを抱える学生に対しては、相談員による相談支援体制を整備しているほか、校長、副校長及び学科教員が連携して学生相談に対応している。必要に応じて保護者との連携や専門機関への紹介を行い、学生が安心して学業を継続できるよう支援している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	0人 (0%)	30人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容)			
進路希望アンケートを行い、学生面談により、就職活動の支援を実施している。校内での就職説明会を実施し、病院の職場環境や特徴を説明し、本校出身者で就職している先輩学生を紹介することも行っている。また、必要に応じて奨学金等の紹介を行いながら、入学から卒業までの期間に、安心して学習に取り組めるよう様々な支援をしている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
看護師免許取得(国家資格)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
105 人	6 人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更（意欲喪失）、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 近年、中途退学者が増加傾向にあるため、個別面談、保護者との連携およびフォローを行い、低学年からの早期の学習支援、経済的支援制度の紹介などにより一層努めている。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	300.000 円	900.000 円	400.000 円	その他の内訳 実験実習費 200.000 施設設備費 100.000 施設維持費 100.000
作業療法学科	300.000 円	900.000 円	400.000 円	その他の内訳 実験実習費 200.000 施設設備費 100.000 施設維持費 100.000
看護学科	200.000 円	750.000 円	250.000 円	その他の内訳 実験実習費 150.000 施設設備費 50.000 施設維持費 50.000
修学支援 (任意記載事項)				
報奨金制度 1) 各種推薦入学者サポート制度：各種推薦受験者が入学する場合、入学初年度前期授業料を一部免除する。 2) 子弟入学制度：入学者の親・兄弟姉妹が本校の卒業生もしくは在校生である場合、入学金を一部免除する。 3) 同時入学制度：子または兄弟姉妹が同時入学した場合、どちらか一人分の入学金を一部免除する。 4) 成績優秀者の報奨制度：1年間を通じて全科目が優秀な成績であり、かつ性行が模範的である者には、授業料を一部免除または報奨金を支給する。 5) 専門実践教育訓練講座に指定を受けた理学療法学科および看護学科の講座では、一定の要件を満たす社会人等が専門実践教育訓練給付金を受けることができる。制度の詳細については、本校ホームページ及び募集要項に掲載している。				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ https://hokuho.ac.jp/information-disclosure/
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)
本校では教育の質向上に向けた外部評価体制を構築しており、理学療法学科および作業療法学科においては5年に1度の第三者評価を受審している。看護学科においては未受審であるため、完全な第三者評価には至っていないが、当面の間は、年2回開催する「学校関係者評価委員会」に第三者評価に準ずる客観的評価の役割を依頼し、評価機能の補完を図っている。

これら各種評価の結果、およびまとめられた学校関係者評価報告書は、ホームページで公表するだけでなく、速やかに全教職員で共有する。各学科ではこの評価結果を踏まえ、具体的な改善計画を策定し、学校全体の方向性を学科長会議で確認した上で、年度内に実施に移す。中長期的な改善策については、次年度の学校運営や教育活動に反映させる。これらの改善の進捗状況は定期的にモニタリングを行い、必要に応じて追加の対策を講じる。

改善策の実施にあたっては、校長、副校長、および各課長（事務課長）の指示のもと、各学科長や各部署の長が責任者となり、改善項目ごとに、担当職員による職務分担と実施事項を明確にする。教育課程編成委員会で議論を深め、進捗管理と情報共有を徹底する。さらに、改善計画の実施結果については、次年度の学校関係者評価委員会に報告し、その有効性を検証することで、教育の質向上や成果を高めるためのPDCAサイクルを進め、継続的な教育改善を図る。

第三者評価の委員		
所属	任期	種別
旭川地区保護司会理事 NPO 法人旭川文学資料友の会事務局長	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	地域等委員
独立行政法人旭川医療センター	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	卒業生（看護師）
旭川市立大学・短期大学部	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	学校等委員
道北勤医協一条通病院	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	病院等委員 卒業生（理学療法士）
旭川脳神経外科循環器内科病院	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	病院等委員 卒業生（作業療法士）
医療法人社団歆生会豊岡中央病院	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	病院等委員
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ https://hokuho.ac.jp/information-disclosure/		
(備考)		
理学療法学科および作業療法学科は一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による認定評価を受けている。 【有効期間 2023年4月1日～2028年3月31日】		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ https://hokuho.ac.jp/information-disclosure/
--